

平成23年度第1回代表委員会議事録

日時：10月22日（土）9：30～12：30

場所：フレンテみえサークル室

参加者：加藤・日沖・山分・足立・浅井・杉山
宇佐美・鈴木・森田・宮木・林・濱地

1. 東海・北陸地区研修会 石川(2011.10. 6・7)報告

1) 地区懇談会(名称変更予定)前名称評議員報告（記加藤会長）

① <社>日本助産師会会員数

8864人（9/1日） 前年同月比：362名増

- ② 支部社団法人取状況 富山：24年総会審議 石川：23年度内申請予定
福井：23年5月取得 三重：23年8月取得
愛知：公益社団法人申請予定

③ 地区理事報告（印象が強かった県のみ紹介します）

千葉県：助産師会助産所開設予定で、企画書を香取市長に提出

島根県：孫育て講座年6回開催。

鳥取県：はいのちの出前講座の歌が人気なので、CDにして販売する。

岐阜県：創立90年記念誌発行予定

沖縄県：母子未来センター建設 1億5千万円うち1億円助成決定。助産所（5床）子育て支援・女性健康支援・助産師育成・助産及び母子保健の研究調査に為の施設で2013年1月予定

④ 震災復興支援 収入 32703426円（委員会で7千万円と報告いたしましたが間違いでした）

支出 10509772円

支出内容としては、①産褥入院 ②現地の助産師による被災地支援 ③被災妊産婦の訪問支援 ④産後乳房ケア支援に8月末、支援総額 宮城 7118000円 福島 515625円 岩手 68029円

⑤ 役員推薦規定の変更

推薦委員がなくなり、選挙管理委員が推薦、立候補、選挙を執り行うこととなります。

各地区から1名出します。東海北陸地区では三重の一見昌子さんが再任を引き受けてくださいました。

⑥ 助産師による保健指導料の医療控除について

乳房マッサージの時、領収書に「**所得税基本通達第73-7条による保健指導**」の一文字を入れると医療控除に含まれる。

⑦ 新人助産師教育に関するアンケート配布病院推薦

新人助産師採用 病院である。の2項目が条件で三重県5施設推薦依頼があり5施設推薦いたしました。病院名は省略。

2) 部会集会報告；別紙報告書参照

①助産所部会集会：足立

②勤務助産師部会集会：山分

③保健指導部会集会：日沖

2. 会員の動向(毎代表委員会にて報告)・名簿確認・会員名簿作成について

4月より新入会員 13名、現在会員数 118名

(足立の本部名簿確認では4月より新入会員 15名、現在会員数、117名)

<桑四 30名>新入会 7名：清水みさゑ氏(保)、水谷和代(保)、佐々岡茉莉氏(勤)

水野円女氏(勤)、西脇有希氏(勤)、野内香純氏(勤)、濱田真理子氏(勤)

移動 1名：上部氏(助)新伊勢分会へ

<鈴鹿 24名>新入会 1名：国分真佐代氏(勤)

<津 34名>新入会 7名：山口佳子氏(勤)、高橋理沙氏(勤)、藤田めぐみ氏(勤)

宮崎宏美氏(勤)、勝原則子(保)、佐田美幸(勤)、木曾原友美氏(勤)

退会予定者 2名

<新伊勢 27名> 移動なし

*濱田真理子氏(勤) 木曾原友美氏(勤)は本部名簿にはまだ掲載されてません(2011.7.27)

3. 新入会会員の入会手続きの手順確認：別紙参照

4. 会長表彰者の推薦

規定は日本助産師会のホームページに掲載されてる。

現時点では該当者上がらず。候補ありましたらよろしく。

【お詫び】厚生大臣表彰は県の医師会を通して推薦するが、今年度は期限切れでできない。

5. 東海・北陸地区研修会の実行委員選出方法について

次回代表委員会までに各分会 2名ずつ選出。

*平成24年東海北陸地区研修会は富山県。実行委員の代表者は必ず参加。

平成24年9月13日・14日 (富山県魚津市天神野新6000。金太郎温泉)

6. 推薦委員 3名選出方法 (平成24年度の三重県助産師会総会までに選出)

任期は2年、選出順は桑四→鈴鹿→津→新伊勢

次回代表委員会までに津()新伊勢()桑四()各1名選出。

7. 平成24年度三重看護フェスタ実行委員選出について

H23.10月に第1回の実行委員会が開催される予定です。

実行委員長は鈴鹿分会の別所尚美さんがさせていただきます。

桑四()()、津()次回代表委員会までに選出。

新伊勢はH25年度にお願いします。

8. フレンテまつりの位置づけと担当、フレンテみえのポイントについての説明(浅井さん)

別紙参照

フレンテまつりの実行委員を2名選出する

9. 教育委員会からの報告

1). 10月16日研修事後報告：林さん（別紙参照）

2). 今後の研修について→確定したらHP掲載。

①新生児蘇生法（NCPR）Bコース認定講習

日時：2012年2月11日（日）、場所：三重大学医学部看護学科

講師：盆野元紀先生、定員：会員20名、会費5,000円

②テーマ：「DVの現状と医療従事者としての役割」

日時：2012年3月4日（日） 9:30～12:00

場所：三重県総合文化センター 中研修室（最大80名収容 9:00～17:00）

講師：フェミニストサポートセンター東海 理事長 隠岐美智子先生

3). ②の研修会ちらしの後援は三重県・看護協会をお願いします。

10. 一般法人三重県助産師会の収益を得るための具体策について

津分会は会員にアンケート調査を実施し、その報告。（別紙参照）

鈴鹿分会・桑四分会は会員の意見を報告。新伊勢分会は新しい意見はないと報告。

・出前講座は個人的にうけている場合もある。助産師会を通して受けた場合に講師料の一部を会にに入れる。

- ・ 母乳・育児キャラバン隊みたいな形で、助産師会の活動を増やす。
- ・ 講演会の参加費をあげる。
- ・ 企業の研修会などに講座ができればいいのでは。
- ・ 助産師会のグッズ(文房具やタオル)などを作って、イベントや講演会で販売する。
- ・ 個人的に寄付を募る。
- ・ 個人的にうけている単発の講師などを助産師会を通す方法で案内する。
- ・ ホームページからのリンクをメーカーさんに提案しリンク代をもらう。
- ・ 行事・会など開催時には募金箱を置く。

【課題】助産師会で事業をもらっても、会員は各自仕事をもっているので、人員の確保が難しいのではないかと。慎重に確実に具体案を確立してから、事業を取る必要がある。

【展望】今後も多くの意見を参考に、1～2年の間には具体案作成する方向で検討していく。

11. 細則に関する検討事項（意見のある方提案を）

意見：細則第5章、第11条「代表委員がやむおえぬ事情で会を欠席する場合は、代理人をたてなければならない」を「望ましい」という表現に変更できないか？

→現実に無理な時はしかたがないという解釈で、細則は今の表現に変更なし。

12. 新人助産師教育が義務づけられた。

勤務場所が主にしていくことにはなるが、三重県助産師会でも新人教育のプログラムが必要ではないか？三重県看護協会助産師会員は約8000人、助産師職能は226名で助産師会118名なので、看護協会助産師職能とタイアップしてできることがよいだろう。

新人教育に関する懇話会に会長出席予定なので、講師として助産師会を活用してほしいとアピールしてみます。

13. 安全対策委員会からの報告

前年度。「保健所立ち入り検査」の結果報告：開業届けをしないで、開業していた出口さんの報告。

14. みえ・医療と健康を守る会の報告：会長代理で足立が会議(10/18)出席、足立報告。

①「日本の医療を守るための国民運動」について説明があり、「受診時定額負担に反対する署名運動のお願い」がされました。できるだけ多くの方の署名を集めたい。

署名はこどもも Ok、本人に承諾があれば代筆 Ok。署名期限：11/20 までに加藤会長まで。

②「第 10 回みんなの健康講座（主催：三重県医師会）」への後援名義使用賛同しました。

15. 新年会 1 月 22 日、高田青少年会館にて別紙参照（津分会濱地さん）

16. イベントユニフォームについて

日本助産師会のポケットのついたゼッケンタイプのものが、良いのではないかと

：会長が本部に聞いてみるとのこと。

今後経過をみて、ウインドブレーカーも考える。

デザインの提案(津分会)がありました。別紙参照

三重県助産師会も「ロゴ」は必須との意見がだされた。

：杉山さんがデザイン屋さんと相談・調整して下さるとのこと。

18. 一般社団法人三重県助産師会 法人化の挨拶はがきを出しました。

三重県健康福祉部こども局、三重県医師会、三重県産婦人科医会、三重県小児科医師会
三重県看護協会、三重県内保健所(松阪、伊勢、尾鷲、熊野、四日市市、桑名、鈴鹿、津)
三重大学医学部看護学科、県立看護大学、四日市医療看護大学看護学科、
ユマニテク看護助産学校

*各保健センターや市役所・教育委員会等の挨拶は関わっている方がはがきを利用するか口頭でお願いします。

19. 次回代表委員会開催日について

平成 24 年 1 月 22 日(日) 新年会後 14:00~16:00

場所：寺内町公民館(徒歩で移動します)

20. 三重県支部専用の電話回線導入について

「次期会長交代時までには導入したい。」と会長の意見。

21. ATL 予防推進委員会 年 1 回（一応会長 or 理事にしたが・・・）8/6

時間切れ、報告・検討せず。

【付録】 来年度(平成 24 年) 通常総会 5 月 17 日・18 日・助産師学会 19 日 千葉県浦安市

記録：足立裕子